

いずみさの昔と今 第350回

「長滝と禅興寺」

泉佐野市長滝にはかつて禅興寺という寺院が存在していました。禅興寺は日根郡の郡司を務めた日根造（ひねのみやつこ）が創建した郡寺であると考えられていますが、その全貌は明らかではありません。文武天皇8（679）年に新羅国大臣惠基（しらぎのくにおおみえき）が開創した説（「行基年譜」と新羅の金麻蘇邇（きんまそに）により創建された説（「泉州志」）があります。これら記述が事実かは分かりませんが、日根造が新羅系の渡来人とされること、禅興寺跡と比定される地区から7、8世紀の瓦が出土していることから一定の事実をもとに記され、遅くとも8世紀には成立していたことが分かります。

さて禅興寺はどのような寺院であったのでしょうか。正和5（1316）年の「日根荘日根野村荒野開発絵図」には「長滝庄」と記された地域に大きく禅興寺が描かれています。そこには、寺域を示す回廊と思われる囲いが巡らされ、南大門、講堂、塔、金堂と思われる建物が配置されています。日根野村を描いた絵図のため中央にこそ描かれていませんが、「長滝庄」の大部分を占めるように大きく描かれることから、日根荘開発において重要な地点と考

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日（いずれも祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料 無料



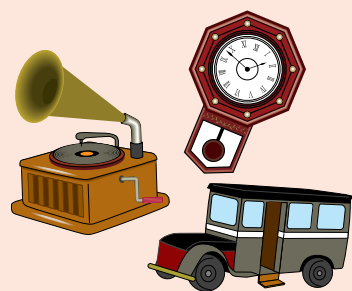
◀ 禅興寺跡出土瓦

碑が建てられていました。ほかに長滝には禅興寺の塔頭（たっちゅう）だと伝わる善光寺地藏堂や薬師寺が現在も存在し、また「大門」などの字（あざ）も確認できます。これらのことから、禅興寺は廃絶したあとも、現在まで地域住民の生活の中に残り続けていることがわかります。

泉佐野 レトロ タイムスリップ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。

⑧商店街 (5)



◀昭和30年代、南海泉佐野駅下の商店街を歩く児童たちの写真。たくさんの商店の看板が並び、当時の賑わっていたようすがわかる。



◀現在の同じ場所の写真。商店街の店舗はほぼ様変わりし、ビルや宅地になっている所もあるが、古い店舗をリノベーションした新しい店舗なども増えてきている。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (<https://adeac.jp/izumisano-city/top/>)」でも公開中！